

地域密着型金融の取組事例について

タイトル：食農教育活動

JA名：JAふえふき（山梨県）

1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> JAバンク教材本贈呈事業により食農教育にかかる補助教材を管内の小学校へ贈呈していますが、子供たちが、土や緑、水に触れ合う時間が減少傾向にあるなか、自分たちが食べている農産物がどのように作られているかを、教材本による学習のみだけではなく、実際に作り・食すことを体験してもらうために、JAバンク食農教育応援事業の一環として、休耕田を有効活用しながらお米を栽培する農業体験を実施しました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> 笛吹市立八代小学校近隣の休耕田（10a）を活用し、同小学校の5年生80名が参加しました。 6月：種蒔き（育苗箱へ種もみを蒔きました。） 7月：田植え（生徒が育てた苗を植えました。） 10月：稲刈り（鎌を使い慣れない手つきで稲刈りを実施しました。） 12月：学校給食（全校児童・教職員・JA関係者総勢500名で食しました。）
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 種蒔きから始まり、収穫して学校給食として食べるまでの一連の過程を体験したことで、生徒からは「初めて田植えの体験をしました。」「お米作りの大変さが分かり、お米の大切さがよくわかりました。」などの感想が聞け、お米の大切さや農業への興味・理解が深まるとともに、保護者や学校関係者の方からも、食の大切さを学ぶ良い機会との好評を得ることができました。
4 今後の 予定（課題）	<ul style="list-style-type: none"> 25年度も学校と協力しながら、お米作りの農業体験を実施予定です。

